時間割コード	G2B6A201	開講年度	2026

授業題目	環境法入門【EA】						担当教員	小林　寛
英文授業名	Introduction to Environmental Law							
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中･不定期		対象学生	ShinXiaコース選択者が優先
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当	備考	
信大コンピテンシー	該当							

(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	【授業の達成目標】
	大学ＤＰ		
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力	⇔	環境問題にはどのようなものがあって（大気汚染などの環境汚染、廃棄物処理・リサイクル、生物多様性保全、気候変動対策など）、これに対して法的にどのように対応して改善・解決されるべきかを理解し説明できるようになる。

(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ ＢＡＳＩＣ(日本理解)、環境マインド実践人材養成コース、ShinXiaコース(ShinXia)
(4)授業の概要	環境問題にはどのような問題があって、これに対してどのように対応し解決されるべきなのかを法的に考察して行きます。 環境法を学ぶうえで前提となる法的知識を簡潔に解説したうえで、環境法の歴史・体系・理念・原則・実施主体・政策手法等について概観します。 そのうえで、具体的に、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、廃棄物処理、化学物質の管理、自然保護、地球温暖化等の問題を取り上げて解説を行います。 なお、この授業は全ての授業を e-Learning で行うオンデマンド授業となります。動画は LMS（Learning Management System）に掲載します。
(5)授業のキーワード	環境法、法、法律学
(6)授業計画	第１回　環境法を学ぶうえで前提となる法的知識①（公法）に関する講義 第２回　環境法を学ぶうえで前提となる法的知識②（私法）に関する講義 第３回　環境法の歴史・体系に関する講義 第４回　環境法の理念・原則・実施主体に関する講義 第５回　環境政策の手法に関する講義に関する講義 第６回　環境影響評価制度に関する講義 第７回　環境紛争処理法①（民事訴訟）に関する講義 第８回　環境紛争処理法②（行政訴訟）に関する講義 第９回　大気汚染に関する講義 第１０回　水質汚濁に関する講義 第１１回　土壌汚染に関する講義 第１２回　廃棄物処理に関する講義 第１３回　化学物質の管理に関する講義 第１４回　自然保護に関する講義 第１５回　地球温暖化対策に関する講義，授業アンケート
(7)成績評価の方法	・授業終了後に小テストを行い、学期末に期末テストを実施します。小テストは、ポータルサイト上で実施し、選択式問題等が出題されます。小テストや期末試験の受験方法の詳細は、ポータルサイトに掲載しますので、必ず確認するようにしてください. ・成績評価は、小テスト(50%。ただし第14回と15回は期末試験で評価するため、小テストは行わない)と期末試験(50%)を目安に総合して行います。
(8)成績評価の基準	・各問題について解答し60点（小テストで得られた点数を含む）以上の点数が得られれば「水準にある」、基本的な問題に対する必要かつ十分な解答ができれば「やや上にある」、応用的な問題に対する適切な解答ができれば「かなり上にある」、全ての問題に対して教員を感心させる解答ができれば「卓越している」とします。 ・授業目標の達成度を測るため、講義の内容を正確に理解できているか、質・量において十分か、解答内容が順序立てられているかどうか、機械的作業を適切に行うことが出来ているかという基準で評価します。
(9)事前事後学習の内容	毎回の授業時に教科書の該当箇所に予め目を通したうえで授業に臨むこと、授業終了後は教科書の該当箇所および配布資料の読み込みを行うことが必要です。教科書や配布資料について、読み込みの際には重要事項にマーカーを付けるなどすることが望ましいと思います。 動画を全部をまとめて視聴すると大変ですので、毎週決まった時間に視聴することをお勧めします。
(10)履修上の注意	・法律学の前提知識は求めないので所属学部は問いません。ただ、法律学の性質上、一定の専門用語が配布資料等に現れることが想定されます。授業の際にわかり易く解説することに努めますが、自分自身でも調べることが望ましい場合があります。
(11)質問,相談への対応	・質問があれば、授業後にメール等でお願いいたします。メールアドレスは、hkoba@shinshu-u.ac.jp です。 ・もし研究室（経法学部４階）に来室する場合にはメールで事前に来室日時をご相談ください。 ・後期のオフィスアワーは木曜日午後１時～午後２時３０分とします。

(12)授業への出席	環境法入門は、全ての授業をe-Learningで行う【EA】授業となります。授業動画をLMS（Learning Management System. 学習管理システムで，eALPSもしくはShinXiaのことです）に掲載します。また、小テスト・期末試験の日程や実施方法もポータルサイトでお知らせします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	授業動画を視聴するとともに、教科書および配布資料の読み込みによって学修の補充を行うこと。
【教科書】	大塚直編『18歳からはじめる環境法［第3版］』（法律文化社、2024年） ISBN:978-4-589-04368-9　価格：2300円（税別）
【参考書】	大塚直『環境法BASIC』（有斐閣、第４版、２０２３年）ISBN:978-4-641-23312-6　4600円（税別） 交告尚史・臼杵知史・前田陽一・黒川哲志『環境法入門』（有斐閣、第４版、２０２０年） ISBN:978-4-641-22162-8　１９００円（税別） 畠山武道・大塚直・北村喜宣『環境法入門』（日本経済新聞出版社、第３版、２００７年） ISBN:978-4-532-11142-7　１０００円（税別） 【判例集】 大塚直・北村喜宣『環境法判例百選』（有斐閣、第３版、２０１８年） ISBN:978-4-641-11540-8　２９００円（税別）